

ぼくたちが飲んでいるお水はどこから来たんだろう!?

五味内と柳内水源はそのまま飲めるきれいな水なんだ!

平田石浄水場

給水地域：稲沢・松沢

梶内配水場

平田石第1取水場  
平田石第2取水場

堂平配水場



# 本宮の水ができるまで



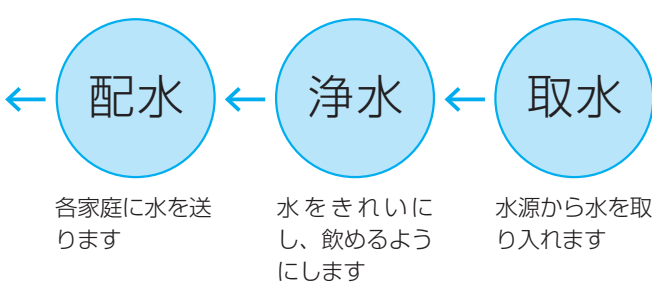
**水**。飲み水、お風呂、洗濯、トイレ。水は日常生活に欠かすことができません。蛇口をひねれば限りなく出てくる水はどこから来るのか。どのように品質が管理されているのか。あらためて考えてみると分からないことも多いと思います。

## 水はどこからくるの？

本宮市の水源は表流水（川の水）と地下水の2つに分かれています。市内には、4つの浄水場がありますが、その多くは地下水をくみ上げて使用しています。立石山浄水場だけが、石筵川と五百川の水を使用しています。水を取り入れることを「取水」と呼び、各場所にある取水場から水をくみ上げ浄水場に運びます。

浄水場に運ばれた原水（表流水や地下水）は、水に含まれる大きなゴミや濁りを沈殿施設で取り除き、さらに各ろ過施設で小さな濁り、微生物、細菌類などが取り除かれ、最後に塩素消毒します。この行

# 本宮市の上水道の流水



程が「浄水」です。「浄水」された水は、浄水池にいったん蓄えられた後、配水場に送られ、皆さんのお宅へと「配水」されます。浄水場は高台に建設されているため、多くは高低差を利用して自然流下で配水されますが、みずぎが丘住宅団地やもとみや住宅団地などの浄水場よりも高い場所を送るときはポンプを利用して送水されます。

**浄水場ではなにをしているの？**

立石山浄水場では、常に安全な水を各家庭に供給するため、24時間体制で4力所の浄水場を監視しています。現在の水量や塩素濃度などをパソコンの画面でリアルタイムで確認し、トラブルがあった時に迅速に対応できる体制をとっています。

また、毎日と定期的な水質検査や週3回の放射性物質モニタリング検査を行って水道水の安全を確認しています。

お水は大切に使おう！



1. 各浄水場を24時間体制で監視
2. 原発事故以降放射性物質モニタリング検査を続けています
3. 最新鋭の膜ろ過施設



6月1日から7日までは水道週間・・・

